平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月9日

上場会社名　株式会社 ネプロジャパン　　上場取引所　東
コード番号　9421　URL　http://www.nepro.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 筒井　俊光
問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長　(氏名) 野澤　創一　TEL 03-6803-3976

四半期報告書提出予定日　平成25年8月13日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	3,948	△0.9	△63	―	△69	―	△66	―
25年3月期第1四半期	3,984	13.7	41	△59.1	17	△72.2	1	―

(注)包括利益　26年3月期第1四半期　△85百万円　(―%)　25年3月期第1四半期　△55百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	△2,535.13	―
25年3月期第1四半期	58.86	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	5,569	1,355	17.6
25年3月期	6,277	1,493	17.4

(参考) 自己資本　26年3月期第1四半期　978百万円　25年3月期　1,092百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	0.00	―	2,000.00	2,000.00
26年3月期	―				
26年3月期(予想)		0.00	―	20.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

(注)当社は、平成25年10月1日を効力発生日として1株につき100株の割合で株式分割を実施する予定であるため、平成26年3月期(予想)の期末の1株当たり配当金については、株式分割を考慮した金額を記載しております。
なお、当該株式分割を考慮しない場合の平成26年3月期(予想)の1株当たりの配当金は2,000円となります。

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,000	0.4	380	48.9	350	274.1	200	286.3	76.74

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

(注)平成26年3月期の連結業績予想における通期の1株当たり当期純利益の予想値につきましては、平成25年10月1日に予定している株式分割が平成26年3月期の開始の日に行なわれたと仮定して算定しております。
なお、当該株式分割を考慮しない場合の通期の1株当たり当期純利益は、7,674円01銭となります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	26,752 株	25年3月期	26,752 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	690 株	25年3月期	690 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	26,062 株	25年3月期1Q	26,062 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……2
（１）経営成績に関する説明 ……2
（２）財政状態に関する説明 ……4
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 ……4
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 ……4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ……4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……4
３．継続企業の前提に関する重要事象等 ……4
４．四半期連結財務諸表 ……5
（１）四半期連結貸借対照表 ……5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ……7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 ……8
（継続企業の前提に関する注記） ……9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） ……9
（セグメント情報等） ……9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第１四半期連結累計期間における我が国経済は、海外景気の下振れリスクが引き続きあるものの、輸出環境の改善や各種政策の効果などを背景に、消費者マインドにも改善がみられ、景気は持ち直してきております。

一方、当社の主な事業分野である携帯電話販売市場は、スマートフォンの利用者が増加するなか、各移動体通信事業者は新製品のラインアップを絞るなど、特徴を打ち出したわかりやすい商品展開により、さらなるスマートフォンへの移行促進が期待される一方、顧客の獲得競争は一段と激しさを増しております。

このような状況のなか、当社グループでは、スマートフォンの販売比率の増加による顧客応対時間及び待ち時間の長期化に対応すべく、人員の充実を進めるともに、移転・改装等による店舗の大型化に取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の連結業績につきましては、以下のとおりです。

売上高は、周辺の競争激化から採算悪化した販売店の一部閉鎖により、販売台数は減少致しましたが、携帯電話専売店における販売が堅調に推移したことにより、3,948百万円と前年同期と比べ35百万円(0.9%減)の減収に止まりました。

営業損益及び経常損益は、販売店においては、採算悪化した店舗の一部閉鎖により損益の改善は見られるものの、携帯電話専売店における店舗の大型化等に伴う人員の増加、モバイルゲーム事業及びその他事業における開発及び営業体制の強化に伴う先行費用等がそれぞれ発生したことから、63百万円の営業損失（前年同期は41百万円の営業利益）、69百万円の経常損失（前年同期は17百万円の経常利益）となりました。

四半期純損益は、少数株主損失等を加減した結果、66百万円の四半期純損失(前年同期は1百万円の四半期純利益)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

なお、前連結会計年度より報告セグメントの利益又は損失の算定方法を変更しており、変更内容につきましては、「４．四半期連結財務諸表（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等）Ⅱ　当第１四半期連結累計期間(自　平成25年４月１日　至　平成25年６月30日)３．報告セグメントの変更等に関する事項」に記載しております。

①　移動体通信事業

当セグメントにおきましては、当社にて特定の移動体通信事業者の端末・サービスを取り扱う携帯電話専売店(キャリアショップ)、連結子会社である(株)キャリアフリーにて複数の通信事業者の端末・サービスを取り扱う販売店PiPoPark(ピポパーク)を運営しております。

当第１四半期連結累計期間におきましては、販売店においては、採算悪化した一部店舗の閉鎖等により損益の改善を図っているものの、携帯電話専売店における店舗の大型化に伴う人員増強等による販売費及び一般管理費の増加により、売上高は3,403百万円と前年同期と比べ48百万円(1.5%増)の増収、セグメント利益(営業利益)は66百万円と前年同期と比べ26百万円(28.2%減)の減益となりました。

②　モバイルゲーム事業

当セグメントにおきましては、(株)モバイル＆ゲームスタジオにてゲームコンテンツの企画・制作を行っております。

当第１四半期連結累計期間におきましては、開発人員の増員に伴う事務所移転等により、一部開発プロジェクトの進捗に遅れが発生したことから、売上高は456百万円と前年同期と比べ95百万円(17.3%減)の減収、セグメント損失(営業損失)は15百万円(前年同期は46百万円のセグメント利益)となりました。

③　その他

当セグメントにおきましては、人材コンサルティング事業等を行っております。人材コンサルティング事業につきましては、連結子会社である(株)シーズプロモーションにて当社グループ移動体通信事業の店舗に対する人材派遣及び携帯端末メーカーから委託を受け携帯電話の販売プロモーション等を行っております。

当第１四半期連結累計期間におきましては、売上高は144百万円と前年同期と比べ1百万円(1.2%増)の増収となったものの、営業エリア拡大の為、関西オフィスを開設したことに伴う人件費等の増加を吸収しきれず、セグメント損失(営業損失)は5百万円(前年同期は3百万円のセグメント利益)となりました。

（２）財政状態に関する説明

当第１四半期連結会計期間の総資産は、5,569百万円となり前連結会計年度末と比べ707百万円の減少となりました。主な要因は受取手形及び売掛金の減少841百万円等によるものであります。なお、受取手形及び売掛金の大幅な減少は、決算月の３月は売上が好調なのに対し、第１四半期末の６月は売上が低調となる季節的要因によるものであります。

当第１四半期連結会計期間の負債は、4,213百万円となり前連結会計年度末と比べ570百万円の減少となりました。主な要因は買掛金の減少154百万円、1年以内返済予定長期借入金の減少71百万円、長期借入金の減少70百万円、短期借入金の減少42百万円等によるものであります。

当第１四半期連結会計期間の純資産は、1,355百万円となり前連結会計年度末と比べ137百万円の減少となりました。主な要因は四半期純損失66百万円、配当金の支払額52百万円、少数株主持分の減少23百万円等によるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、当第１四半期連結累計期間における経営成績は損益が赤字となりましたが、移動体通信事業におきましては、スマートフォンの普及・拡大による買い替え需要が継続することが期待されることに加え、これまで店舗の移転・改装及び統廃合等を推進してきた効果による損益の改善を見込んでおります。

モバイルゲーム事業におきましては、人材の育成・増強による開発体制の強化及びプロジェクト管理の強化による第２四半期以降の黒字転換を見込んでおります。

その他事業の人材コンサルティング事業につきましては、携帯販売ショップへの人材派遣や業務請負を主に行っておりますが、関西エリアへの営業強化等による派遣者数の増加により損益の改善を見込んでおります。

以上の結果、当連結会計年度（平成26年３月期）の業績見通しにつきましては、平成25年５月10日発表の業績予想に変更はありません。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

４．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	437,490	485,613
受取手形及び売掛金	2,241,870	1,400,168
商品	583,358	620,166
仕掛品	16,225	10,139
貯蔵品	5,737	7,060
その他	358,883	350,012
貸倒引当金	△2,278	△2,278
流動資産合計	3,641,287	2,870,883
固定資産		
有形固定資産	323,799	367,479
無形固定資産		
のれん	201,694	187,287
その他	74,093	79,255
無形固定資産合計	275,787	266,542
投資その他の資産		
差入保証金	820,236	843,445
繰延税金資産	837,972	841,837
長期未収入金	384,463	384,463
その他	410,613	411,514
貸倒引当金	△416,507	△416,507
投資その他の資産合計	2,036,779	2,064,753
固定資産合計	2,636,365	2,698,776
資産合計	6,277,652	5,569,659
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,245,425	1,091,110
短期借入金	1,240,655	1,198,021
1年内返済予定の長期借入金	443,693	372,284
未払法人税等	39,815	4,275
賞与引当金	61,270	33,046
その他の引当金	6,683	5,023
その他	954,252	788,382
流動負債合計	3,991,796	3,492,141
固定負債		
長期借入金	439,465	368,934
退職給付引当金	123,338	118,484
その他	229,870	234,332
固定負債合計	792,674	721,750
負債合計	4,784,470	4,213,892

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	592,845	592,845
資本剰余金	345,180	345,180
利益剰余金	141,207	23,012
自己株式	△28,635	△28,635
株主資本合計	1,050,597	932,402
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	41,903	45,915
その他の包括利益累計額合計	41,903	45,915
少数株主持分	400,681	377,448
純資産合計	1,493,182	1,355,767
負債純資産合計	6,277,652	5,569,659

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年６月30日）
売上高	3,984,525	3,948,730
売上原価	3,076,505	3,165,107
売上総利益	908,020	783,622
販売費及び一般管理費	866,712	847,324
営業利益又は営業損失（△）	41,307	△63,701
営業外収益		
受取利息	242	694
受取手数料	411	5,939
不動産賃貸料	1,742	1,852
その他	1,670	2,955
営業外収益合計	4,067	11,441
営業外費用		
支払利息	18,598	14,316
貸倒引当金繰入額	7,853	－
その他	1,338	3,114
営業外費用合計	27,790	17,430
経常利益又は経常損失（△）	17,584	△69,690
特別損失		
固定資産売却損	1,000	－
減損損失	1,612	8,542
賃貸借契約解約損	1,650	10,524
その他	567	－
特別損失合計	4,829	19,066
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	12,754	△88,757
法人税等	68,383	545
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△55,628	△89,303
少数株主損失（△）	△57,162	△23,232
四半期純利益又は四半期純損失（△）	1,533	△66,070

四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△55,628	△89,303
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	－	4,012
その他の包括利益合計	－	4,012
四半期包括利益	△55,628	△85,290
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,533	△62,058
少数株主に係る四半期包括利益	△57,162	△23,232

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当第１四半期連結累計期間(自　平成25年４月１日　至　平成25年６月30日)

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間(自　平成24年４月１日　至　平成24年６月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他(注)	合計
	移動体通信事業	モバイルゲーム事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,354,966	552,044	3,907,011	77,514	3,984,525
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	65,545	65,545
計	3,354,966	552,044	3,907,011	143,060	4,050,071
セグメント利益	92,800	46,198	138,998	3,846	142,845

（注）　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、人材コンサルティング事業等を含んでおります。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	138,998
「その他」の区分の利益	3,846
セグメント間取引消去	38
のれん償却額	△14,406
全社費用(注)	△87,169
四半期連結損益計算書の営業利益	41,307

（注）　全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間(自　平成25年４月１日　至　平成25年６月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他(注)	合計
	移動体通信事業	モバイルゲーム事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,403,893	456,648	3,860,541	88,188	3,948,730
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	56,626	56,626
計	3,403,893	456,648	3,860,541	144,815	4,005,357
セグメント利益又は損失(△)	66,631	△15,146	51,484	△5,027	46,456

(注)　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、人材コンサルティング事業等を含んでおります。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益又は損失	金額
報告セグメント計	51,484
「その他」の区分の損失(△)	△5,027
セグメント間取引消去	57
のれん償却額	△14,406
全社費用(注)	△95,809
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△63,701

(注)　全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの利益又は損失の算定方法の変更)

前連結会計年度より、経営管理の手法を見直したことにより、報告セグメントの利益又は損失の算定方法について、のれんの償却費を各報告セグメントに配分しない方法に変更しております。なお、前第１四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の方法により作成しております。